



開館 70 周年記念特別展 I
KORIN 展
国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」
Kōrin

National Treasure *Iris*es of the Nezu Museum and
Eight-Bridges of the Metropolitan Museum of Art

2011年4月16日(土)～5月15日(日)

[休館日] 月曜日 ただし5月2日(月)開館

[夜間開館 4月29日(金・祝)～5月15日(日) 午後7時まで開館]

根津美術館では、開館 70 周年を記念する展覧会の第一弾として、今春 2011 年 4 月 16 日 (土) から 5 月 15 日 (日) まで、当館が誇る国宝「燕子花図」と、米国・ニューヨークのメトロポリタン美術館に所蔵される「八橋図」を、一堂にご覧いただく『**KORIN 展 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」**』を開催します。

国宝「燕子花図」は、尾形光琳 (1658～1716) が生んだ日本絵画史上の名品です。伊勢物語の「八橋」の場面を発想源として、六曲一双の金地の屏風に、群生する燕子花のみが鮮烈に、堂々と描き出されています。

この作品を描いてから 10 数年後、光琳は同じテーマに基づく屏風絵の制作に挑みました。メトロポリタン美術館の「八橋図」です。「燕子花図」とは異なり、八橋を暗示する橋のモチーフとともに燕子花を描き、構成的かつ幻想的な画面を作り上げています。

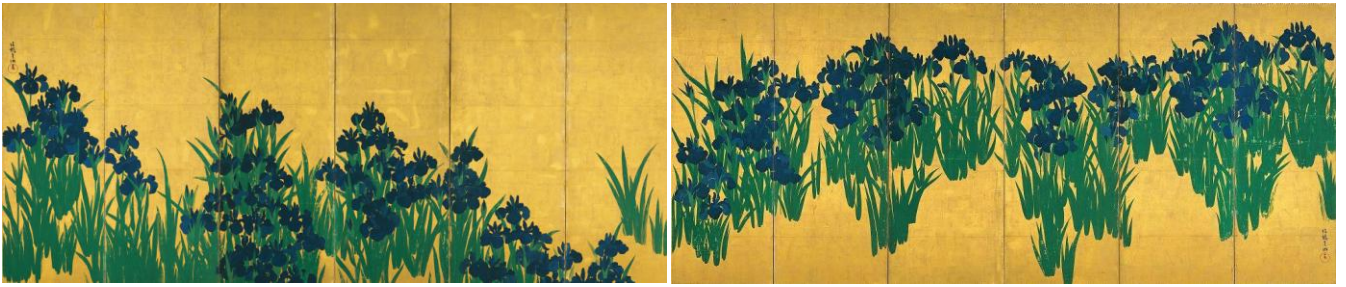
本展では、大正 4 年 (1915) 光琳没後 200 年を記念する展覧会で同時に展覧されたあと、日本とアメリカに離れ、以降一度も出会うことのなかった「燕子花図」と「八橋図」がおよそ 100 年ぶりに再会します。同じテーマを、同じ六曲一双屏風に、時をへだてて描いた 2 つの作品。光琳の画風展開を目の当たりにできる待望の展覧会です。あわせて本展では、「燕子花図」以前の初期の作品や、酒井抱一編『光琳百図』掲載の作品によって光琳画の軌跡を展観します。

[開催概要]

- | | |
|--------|---|
| 【展覧会名】 | KORIN 展 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」 |
| 【主催】 | 根津美術館 |
| 【開館期間】 | 2011年4月16日(土)～5月15日(日) |
| 【開館時間】 | 午前10時～午後5時 [入館は午後4時30分まで] |
| 【夜間開館】 | 4月29日(金・祝)～5月15日(日) 午後7時まで [入館は午後6時30分まで] |
| 【休館日】 | 毎週月曜日 ただし5月2日(月)開館 |
| 【入館料金】 | 一般1200円 学生1000円
* 20名以上の団体、身障者手帳提示者および同伴者1名は200円引き
* 小・中学生以下は無料 |
| 【前売券】 | 一般1100円 学生900円
*2011年2月26日(土)～4月6日(水)特別展『「古鏡」と「ひなざり」』開催期間中、根津美術館ミュージアムショップにて販売 |
| 【アクセス】 | 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線〈表参道〉駅下車
A5出口(階段)より徒歩8分、B4出口(階段とエスカレータ)より徒歩10分、
B3出口(エレベータまたはエスカレータ)より徒歩10分 |
| 【住所】 | 〒107-0062 東京都港区南青山6丁目5番1号 |
| 【お問合せ】 | TEL 03-3400-2536 (代表) http://www.nezu-muse.or.jp |

特別展 展示室 1・2

(会期中、一部の作品について展示替えを行います。前期展示は4月16日～4月30日、後期展示は5月1日～5月15日迄となります)



国宝 燕子花図屏風 六曲一双 尾形光琳筆 江戸時代 18世紀 根津美術館蔵

「燕子花図」は制作後ながく京都の地に秘蔵され、その存在が知られるようになったのは明治時代に入ってからである。その後、大正時代のはじめに初代根津嘉一郎の所蔵となり、昭和6年(1931)に旧国宝、同26年に現行の国宝に指定された。



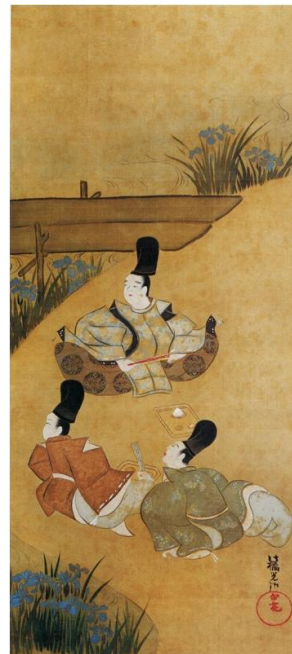
八橋図屏風 六曲一双 尾形光琳筆 江戸時代 18世紀 メトロポリタン美術館蔵 Image © The Metropolitan Museum of Art

「八橋図」は、江戸後期の文政9年(1826)、光琳顕彰の立役者・酒井抱一(1761～1829)が編んだ『光琳百図』後編に、ほぼ同じ図様が掲載される。こうした出版物によって光琳の作品イメージは海外にもおよび、やがて「八橋図」は海を渡り、1953年メトロポリタン美術館に収蔵され、現在に至る。



十二ヶ月歌意図屏風 六曲一双 尾形光琳筆 江戸時代 17世紀 個人蔵

現存する光琳最初の作品。十二ヶ月の花や木を題材とする詩歌にもとづく絵の上方には、12人の公家が和歌を書しており、光琳の画業が京都の堂上サロンではじまったことを物語る。穏やかな画風は当時の公家の好みにあわせたもの。ここを出発点に、やがて光琳は独自の装飾的な画風を築いてゆく。



光琳は、伊勢物語「八橋」の場面を好んで描いた。本作品は、燕子花が咲き、板橋がかかる水辺で、主人公と供人たちが都の方角を眺める様子を、物語に忠実に描いている。人物の姿には、宗達の影響もうかがわれる。

伊勢物語八橋図 一幅 尾形光琳筆 江戸時代 18世紀 東京国立博物館蔵



白楽天図屏風 六曲一双 尾形光琳筆 江戸時代 18世紀 根津美術館蔵

「八橋図」と同様、酒井抱一が江戸時代末期に実際に目にした作品。また、謡曲「白楽天」を題材とする点で、謡曲「杜若」にインスピレーションを得たとも指摘される「燕子花図」と関係が深い。

<関連情報>

■特別講演会 <尾形光琳の人と作品 -燕子花図と八橋図をめぐって-> (仮題)

- 日時 2011年4月17日(日) 午後2時から午後3時30分
- 講演 村瀬美恵子氏(コロンビア大学名誉教授)
- 定員 140名

■シンポジウム <光琳画の展開と受容> (仮題)

- 日時 2011年4月23日(土) 午後1時から午後4時30分
- 講演 パネリスト: 玉蟲敏子氏(武蔵野美術大学教授)
仲町啓子氏(実践女子大学教授)
中部義隆氏(大和文華館学芸課長)
野口剛氏(根津美術館学芸主任)
- 司会: 河合正朝氏(慶応義塾大学名誉教授)
- 定員 100名

<申込方法> 往復はがきに参加を希望される「特別講演会」もしくは「シンポジウム」と、住所、氏名(返信面にも)電話番号を明記の上、〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1 根津美術館『KORIN展』係にお申込みください。「特別講演会」は2011年4月2日(土)、「シンポジウム」は4月9日(土)、締切(当日消印有効)。参加希望者1名につき1枚の往復はがきでお申し込みください。応募者多数の場合は抽選となります。

■スライド・レクチャー

展示内容について、学芸員がスライドをもちいてお話しします。

- 《モーニング・レクチャー》 4月19日(火)、26日(火) 午前10時30分~11時
- 《イブニング・レクチャー》 4月29日(金)、5月6日(金) 午後6時~6時30分

<参加方法> 事前申込みは不要です。各回とも開始の15分前より会場入口で受け付けます。
定員(140名)になりしだい受付終了となります。

※会場はいずれも、根津美術館 講堂
※聴講は無料ですが、入館料をお支払いください

<夜間開館> 2011年4月29日(金・祝)~5月15日(日)

午前10時~午後7時(入館は午後6時半まで)

ゴールデンウィーク初日より、展覧会最終日まで開館時間を延長し、午後7時まで開館します。また4月末から5月初旬にかけてカキツバタの群生が庭園を青色に彩ります。

茶室「弘仁亭」前のカキツバタ



<ミュージアムショップ>



オリジナル香「光琳」



KORIN展オリジナル ポストイット(価格未定)



燕子花図をイメージした KORIN 展オリジナルグッズを販売します。またメトロポリタン美術館「八橋図」をモチーフにしたグッズも会期限定で販売予定です。

●オリジナル香「光琳」 内容量約20g、約45本、1,000円(予定価格)

白檀をはじめ仏教と共に日本に伝来した漢方薬系の天然香料を配合した品格ある香色が特徴です。

<NEZUCAFÉ>



緑豊かな庭園が眼下に広がる、景観のよい NEZUCAFÉ では、KORIN 展開催時期に合わせ、限定メニューを販売予定です。
定番のミートパイや、有機栽培の豆を焙煎した美術館オリジナルのコーヒー、さらには抹茶ラテ(ホットとアイス)も、人気メニューです。

[同時開催]

■ テーマ展示

展示室 5 「柵と卓」



螺鈿楼閣人物文卓 一基 元-明時代 高さ 15.2 cm
根津美術館蔵

長方形の平卓で、腰板に透かしを設けています。黒漆塗りの地に螺鈿で全体に隈無く文様をあらわした華やかな卓で、天板には邸宅の前庭に集う七人の人物、縁には雲形の窓をとり、その中に菊や牡丹などの花を配しています。元末明初頃とみられる細やかな螺鈿の装飾が見事な卓です。

展示室 6 「初風炉の茶」



青磁浮牡丹文水指 一口 元時代 13-14 世紀
根津美術館蔵

立夏を過ぎると、前年の秋から使用した茶室の炉を塞ぎ、風炉を置いて釜を掛けます。初夏の茶の湯の始まりです。新緑の季節を楽しむために、爽やかさを感じさせる茶道具や端午の節句に因んだ作品を取り合わせました。

[展覧会リリース、広報画像はホームページからもダウンロードできます]

【リリース PDF】 <http://www.nezu-muse.or.jp/jp/press/>

【広報画像ダウンロード】 <http://www.nezu-muse.or.jp/jp/press/download/>

<次回展>

伊万里・柿右衛門・鍋島

— 肥前磁器の華 —

2011年5月28日(土) - 7月3日(日)

山本コレクションより我が国を代表する磁器で、世界に認められた伊万里、柿右衛門、さらに鍋島の魅力をご紹介します。

<リリース・広報のお問い合わせ>

担当: 鎌倉/朝倉/白原

TEL(学芸・広報/直) 03-3400-2538 / 携帯電話(鎌倉) 080-6622-2536

FAX 03-3400-2436 MAIL: press@nezu-muse.or.jp